

自販機リサイクルボックスの異物混入低減の取り組みについて



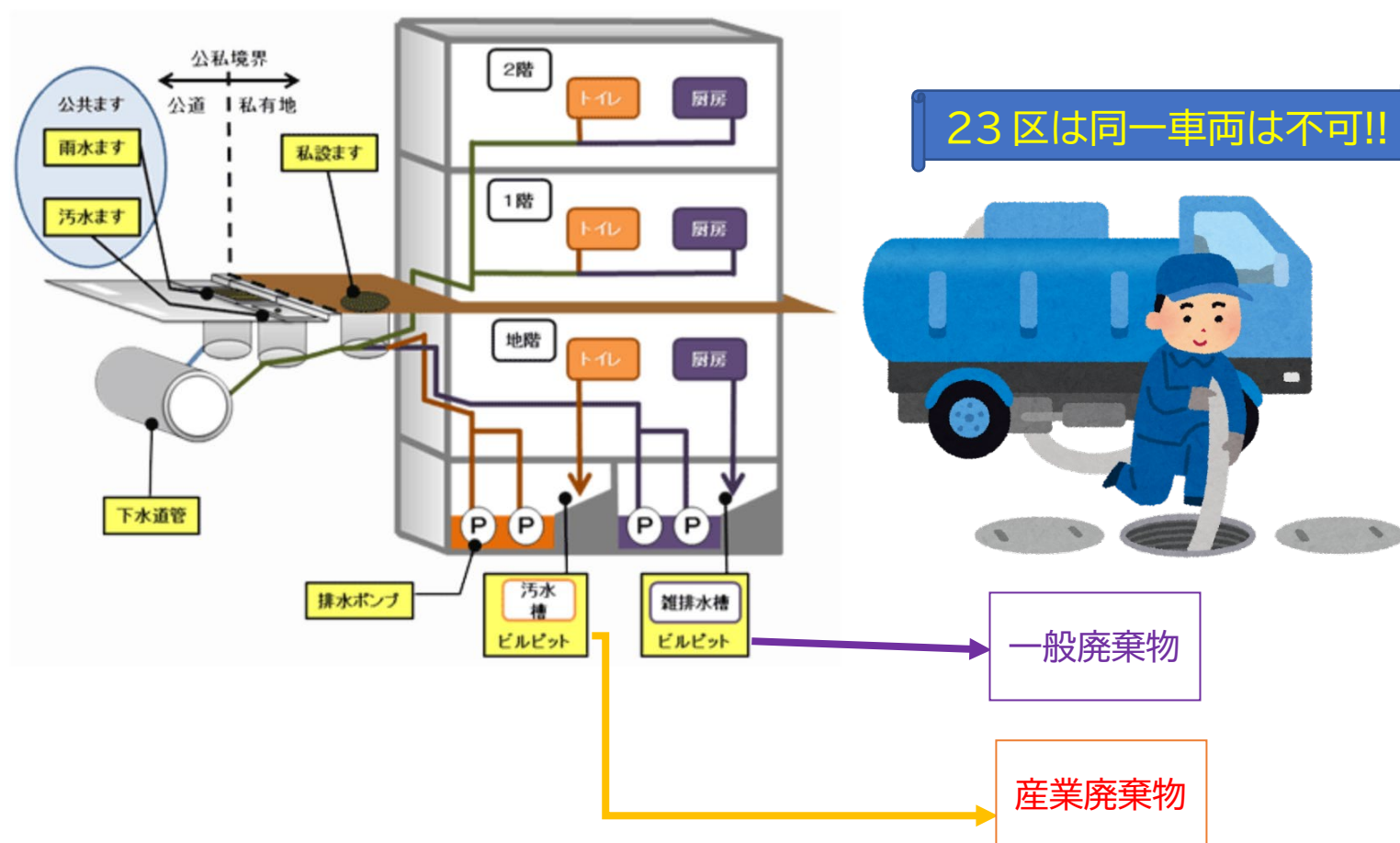
←写真©東洋経済オンライン



写真©全国清涼飲料連合会→

○ ビルピットとは

ビルの地下にある厨房やトイレ等は、下水道管より低い位置にあるため、排水を自然流下で排水することができません。そのため、地下部分で発生した排水をポンプでくみ上げて下水道に排除しています。このとき、一時的に排水を貯留する排水槽を「ビルピット」と呼んでいます。



「港区低炭素まちづくり計画」

3. 取組の事業予定

各取組の事業予定

基本方針1 エネルギーが最適利用され、自立性の高いまちづくり
施策1-1 エリアにおけるエネルギー利用効率の向上

【凡例】★：令和8年度単年度

取組	新規・継続	取組指標	事業予定				
			令和2年度 まで	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～ 令和8年度※
エネルギーの面的管理・利用の促進	継続	エネルギーの面的利用を導入する開発事業における自立分散型エネルギー（コージェネレーションシステム等）の導入施設数	13	-	1	2	8
先端技術等を活用したエネルギーの効率的利用の検討	新規	—	検討	検討	検討	検討	検討

施策1-2 建築物のエネルギー負荷の削減

取組	新規・継続	取組指標	事業予定				
			令和2年度 まで	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～ 令和8年度※
建築物のエネルギー負荷削減に向けた指導・誘導	継続 (拡充)	【港区建築物低炭素化促進制度の運用】 対象物件の完了届出件数（件）	7	50	50	50	150
		優秀水準を達成した建築物数（件）	—	—	5	5	15
		【港区地球温暖化対策報告書制度の運用】 報告書を提出した事業所数（件）	—	1,500	1,750	2,000	6,000
		優秀水準を達成した建築物の割合（％）	—	—	15	20	30★
		港区有施設環境配慮ガイドラインに基づき整備した施設数	4	4	3	3	6
老朽建築物の面的な建替え	新規	—	指導・誘導	指導・誘導	指導・誘導	指導・誘導	指導・誘導

施策1-2 土利用・再生可能エネルギーの活用促進

「港区新築建築物への省エネルギー機器等設置費補助」

新築建築物への 省エネルギー機器等を導入した際の

経費を 補助します

港区では、令和3年4月に施行した「港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例」に基づく「港区建築物低炭素化促進制度」によって、新築建築物に高いレベルの環境配慮を誘導することで、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。

蓄電システムや高効率空調などの高性能設備機器の導入により、区が定める基準に達した省エネルギー性能の高い建築物を区内に新築する建築主へ対象経費を補助します。



補助金額

1特定建築物当たりの補助対象経費の3分の1（上限500万円）



補助対象者

- ✓ 工事着手前の申請であること
- ✓ 下表に定める基準に達した省エネルギー性能を有する特定建築物（延べ面積が2,000㎡以上の建築物のこと）を区内に新築する建築主であること

解体等工事の周辺への周知掲示例(「港区建築物の解体工事等の事前周知等に関する要綱」に基づく)

港区告示「告示第26号」

解体工事のお知らせ
石綿除去等

下記のとおり、この建築物の(解体・石綿除去等)工事を行います。

工事の名称	アパート 24号棟		
工事を行う建築物の概要	高さ 53.0m	竣工年月 22.08.1月	延べ面積 (工事に係る部分 164.59㎡)
	構造 SRC造	階数 地上16階/地下1階	
発注者 (法人・個人ともに、その名称及び住所を記載してください)	住所 東京都渋谷区神宮前5-53-47		
	氏名 東京都住宅供給公社 理事長		
工事期間	令和4年 1月 11日 ~ 令和4年 3月 31日		
標識設置年月日	令和3年 12月 10日		

石綿等について

有無および調査日	⑤ 無	令和3年11月29日
使用されている石綿等	石綿含有成形版	
調査方法	現地で目視にて確認	
石綿除去等工事期間	令和4年 1月 11日 ~ 令和4年 3月 31日	
飛散防止対策	ビニールシート等で養生及び密着にて遮断	

上記解体工事等計画についてのお問合せは、下記へお願いいたします。

住所	品川区大井1-28-1
氏名	東京都住宅供給公社 大井町窓口センター 営業係 担当
連絡先	03-6271-0521

この標識は、「港区建築物の解体工事等の事前周知等に関する要綱」第8条第1項の規定により設置したものです。

(注1) 標識の大きさは、A3判以上としてください。

(注2) 解体工事で石綿除去等工事を行わない場合は、「石綿除去等」を、二重線で消してください。

(注3) 解体工事等石綿除去等工事期間「飛散防止対策」欄の記載は不要です。

この場合は、「石綿除去等工事期間」「飛散防止対策」欄の記載は不要です。

また、石綿除去等工事のみ行う場合は、「解体」を、二重線で消してください。

(注3) 雨にぬれないもので覆い、工完了まで、現場に掲示してください。

アスベストの発塵性レベル

レベル1:著しく高い(吹付け石綿)

レベル2:高い(石綿含有の断熱材・保温材・耐火被覆材)

レベル3:比較的低い(その他の石綿含有成形版等)